

製品パンフレット

eBaoCloud™

デジタルコア（損害保険用）

モバイル性の高いデジタル時代には、保険エコシステムの関係者が台頭し、コンテンツに基づくシナリオ方式の保険が標準的になり、保険商品やセールスチャネルの組み込みや細やかな分散化の進行を促進しています。保険会社は多数のパーソナライズされた商品を提供し、何百万ものチャネルに「ゼロコスト」と「ゼロタイム」で接続する能力を備えることを求められています。



デジタル保険の総合的な傾向

ゼロに近づくチャネル接続コスト

モバイルインターネットやIoTにより、接続コストがゼロに近くなり、接続やサービスのマージンコストもゼロに近く、保険を含む多数の業種でビジネスモデルの変革が起きています。

よりオープンなエコシステムで運営されている保険

より多くの保険商品が他の事業に組み込まれることが多くなり、セールスやサービスが外部チャネルを介して生じ、より多くの戦略がビッグデータを使用して設計されるようになってきました。ここでの最大の変化は、80:20の法則がよりデータドリブンでより少数の顧客毎に焦点を合わせるロングテールの法則へと進化したことです。

保険会社が直面している課題

• 法律・法規の変更

インターネットテクノロジーが急速に進歩し、規制上の要件は今まで以上に急速に変化し、保険会社は後れを取らないように取り組んでいます。

• 複雑な商品

保険商品は複雑であり、セールスのニーズが絶えず変化を続けているため、より大きな課題が生じています。

• 柔軟性のないシステム

従来の保険会社のITシステムは柔軟性を欠き設定を変更しにくい、顧客の実際のニーズに対応することが難しく、商品と顧客のニーズの間で不一致が発生しています。

• パーソナライズ

モバイルインターネット時代である現代では、消費者が保険商品に対してより大きなカスタマイズとパーソナライズを求めています。

• ユーザーエクスペリエンスに関する不満

ソフトウェアのユーザーエクスペリエンスについてのユーザーの要求がより厳しくなっているため、ユーザー中心の観点から使いやすいソフトウェアを設計する必要があります。

• コモディティ化する市場への対応

インターネット保険の出現により、保険商品の均質化が進み、一般的には競合相手が素早く商品をコ

ピーできるようになりました。市場の競争に勝つためのカギは、新商品やプロセスを迅速に開発・導入することです。

• チャネル統合

多様なデジタルチャネルの出現とIT技術の急速な発達により、セールスコストを引き下げするためにデジタルチャネルと統合する傾向が一般的になっている現代の保険市場では、従来の単一セールスチャネルが競争力を失っています。

• グローバリゼーションからの課題

保険サービスや金融資本のグローバリゼーション傾向のために、保険会社では新規事業の展開、各地域での拡張実現、運営およびシステムを世界規模で標準化する必要が生じています。

保険ソフトウェアの現状

従来の保険ソフトウェアは長年にわたり使用されてきましたが、近年では現代の展開に後れを取っています。アプリケーションは市場に反応するスピードが遅く、ユーザーエクスペリエンスも良くないため、新しいセールス需要に対応していません。システムのほとんどは、市場の展開に迅速に対応するための柔軟性が不十分です。従来のテクノロジーも維持費が高く、システムが比較的クローズドなため、新しいデジタルチャネルに組み込むことができません。

保険業界で必要とされているシステム

新しいシステムを評価するとき、保険会社は次のようなことを確認します：

- 第三者のデータやプラットフォームは簡単に組み込むことができるか
- システムの統合が簡単で、他のテクノロジーにも対応できるか
- システムは変化に対応できるか
- システムはスケーラブルか
- 導入と運用のプロセスは効率的に行われるか

デジタルコア（損害保険用）は、保険会社の具体的なニーズを前提に設計されています。

統合

サービスの融合: デジタルコア（損害保険用）では、保険加入者、チャネル、代理店、再保険会社、病院、保険共通プラットフォームなどを含めた縦方向の保険関係のビジネスエコシステムすべてをシームレスに統合し、1カ所で極めて効率の高いサービスを提供します。

メガチャネルの有効化: デジタルトレンドに対応するためには、従来の保険商品や販売チャネルをデジタルエコシステム、IoT、ビッグデータ、AI と完全に統合する必要が生じています。デジタルコア（損害保険用）は、すべての主要なインターネットプラットフォームで統合可能であり、インターネットやIoT経済の発展から生じる新たなリスクに対する保険を提供できます。

オープン・アーキテクチャ

デジタルコア（損害保険用）は標準的ACORDデータ仕様、標準的APIおよびリターンルールを適用しているため、保険会社やシステムインテグレーターは、簡単にプロジェクトを習得、協力、引き継ぎできます。プリセットのチャネル統合とシステム統合方法により、保険会社はサードパーティのシステムを迅速に統合・マージでき、データと事業の融合が実現されます。

柔軟性

マイクロサービスモジュールに基づくデジタルコア（損害保険用）は、迅速かつ柔軟に様々なビジネスシナリオをセットアップして、顧客のパーソナライズした需要に応えることができます。システムは個人保険、企業保険、団体保険、インターネット保険、各種の革新的

な保険を含めたすべての主流商品をサポートしています。

保険会社では、コンポーネント単位、または可用性に優れた大規模システム(Sharding)、従来のオンプレミス、クラウドから、導入モデルを選択することができます。シャーディング方式は優れたスケーラビリティを備え、ピーク時により優れた性能を発揮します。導入後は保険会社が運用を引き継いで新商品対応や新規チャネルのビジネスニーズに合わせて最適化することができます。

さらに、デジタルコア（損害保険用）は携帯電話、タブレット、スマートフォンアプリ、ソーシャルメディアなどを含めたすべての主流デバイスと端末に対応しています。

効率化

デジタルコア（損害保険用）は、保険会社のニーズに応じてその事業の成長をサポートするために効率良く導入することが可能で、その結果顧客の成功を迅速に実現することができます。システムの構造は透明性が高いため、保険会社は複雑な構造を習得するために大量の時間やリソースを費やす必要がなくなり、迅速かつ効率の良いデリバリーや運用が可能です。本稼働開始後に、システムは安定した動作、迅速な応答時間、単純なメンテナンスという特長を備え、デイリーログを使用してシステムパフォーマンスのモニタリングが行われます。イーバオテックでは、リリースプロセス、パーソナライズプロセス、パラメータ設定センターでも高レベルの自動化を実現しています。操作とメンテナンスの自動化により、極めて効率の高いシステムメンテナンスを低コストで提供できます。

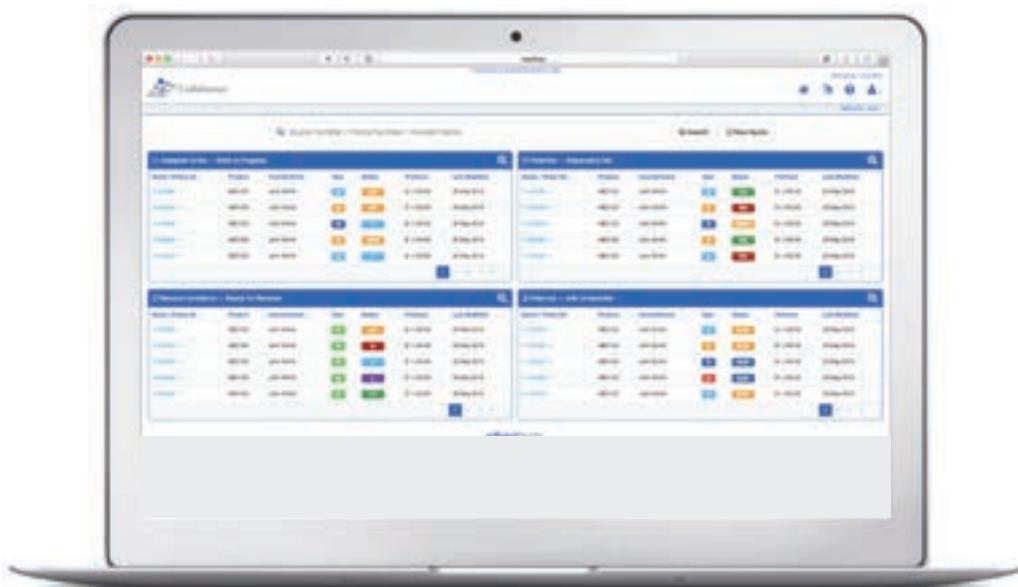


図1: デジタルコア（損害保険用）ログインページ

製品の特徴

保険会社のユーザ企業に新商品、サービスやアップデートを作り出すための能力とツールを提供するデジタルコア（損害保険用）は、ITプロジェクトよりもビジネスプロジェクトに近い形態になっています。

変貌を続けるデジタル時代である現在は、マスチャネルに埋め込まれた従来型の販売方法において、細やかな保険商材や支払い対応を行っている保険会社が増えています。保険契約のコストはほんの数円の場合もあり、消費者が今までになく頻繁に保険契約を購入しています（例えば、返送料保険、航空機遅延保険、ホテル予約取り消し保険、その他の頻繁に契約する商材など）。これらの傾向により、マイクロ保険契約を提供するための商品管理能力の改善が保険会社に求められています。デジタルコア（損害保険用）の機能性やアーキテクチャはクラウド方式であり、保険会社が自社の商品や業務内容で直ちに適用できる、適用準備の整ったマイクロサービスを提供しています。

イーバオテックのソフトウェア商品は、イーバオテックの革新的なテクノロジーと製品アーキテクチャを駆使し、市場の変化に保険会社が迅速に対応して新規業務を拡張できるようにすると同時に、高度な柔軟性とカスタマイゼーションを実現します。



パワフルなプロダクト・ファクトリー (Product Factory) – 想像を超えたスピードで商品カスタマイゼーションを実現

メタデータはデータについて説明するデータであり、データについて説明する情報と情報リソースが含まれています。メタデータは標準化され透明性があり、維持と拡張が簡単です。デジタルコア（損害保険用）の商品管理は、メタデータ主導のプロダクト・ファクトリー (Product Factory) の形式で行われます。商品の構成を行うとき、ユーザがExcelファイルをアップロードして最新のHTML5テクノロジーを使用するインタラクティブなインターフェイスでページを編集すると、システムによってパーソナライズに全面的に対応するUIが自動的に出力されます。計算ロジックは分散型および複雑型の保険設計の両方に対応し、使いやすく構成されています。ユーザは、ITサポートを要さずに簡単にビジネスルールやパーソナライズした見積画面を作成できます。

イーバオテックのプロダクト・ファクトリーでは、保険会社が簡単にパーソナライズ化された商品と保障内容を設定し、迅速に新商品を導入することができます。

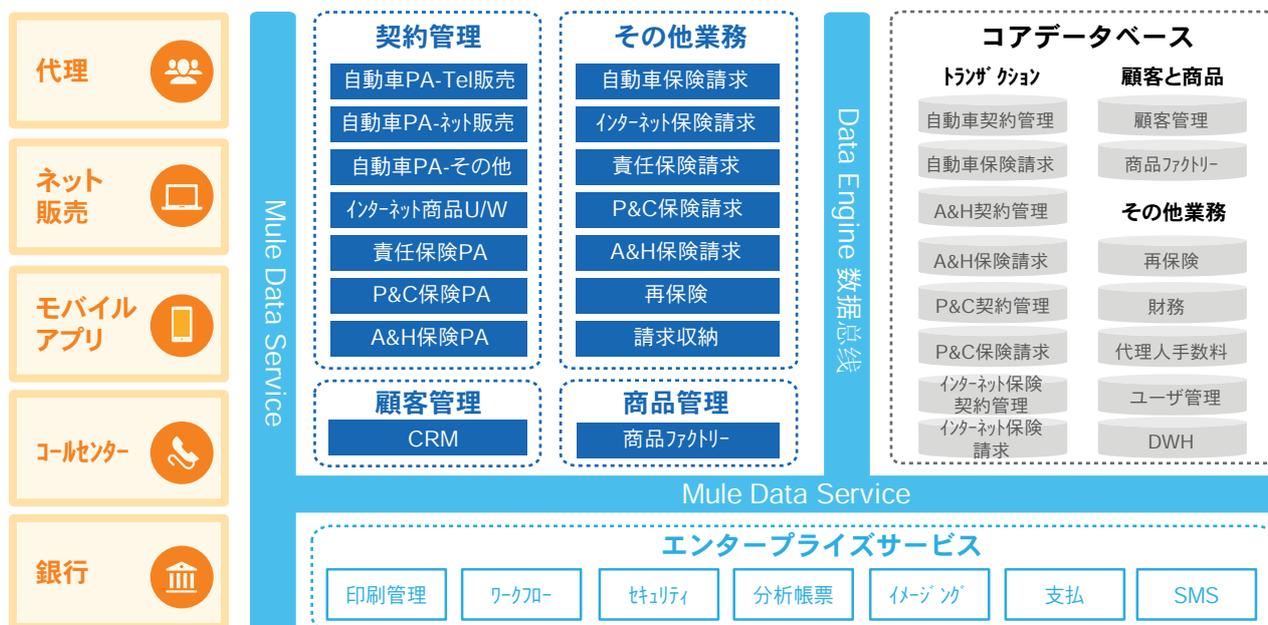


図2: 大規模なディストリビューションでの導入を実現するテクノロジー・ソリューション



ルールエンジン – 柔軟性、パーソナライズ、カスタマイズ機能を提供

保険会社が請求や計算の過程に対応するには、柔軟性のある高速なエンジンが必要です。イーバオテックのルールエンジンでは、プリセットの既定ルールを提供することも、チャネル、当事者、商品の構成に合わせてルールを柔軟にカスタマイズすることもできます。ルールを実行に組み込み、ユーザーがパーソナライズされた保険料、保険金額、請求額を計算する計算ロジックを設定することができます。ユーザも、料金やルールの編集・メンテナンスを行うことができます。



マイクロサービスの組合せによるFlexibility – プロセスをビジネスニーズとして組み合わせ

マイクロサービスは、イーバオテックのソフトウェアシステムの主要機能の一つです。オーケストレーション (Orchestration) 機能を使用して、保険会社は新しいビジネスプロセス、商品ライン、保険契約発行・請求プロセスを迅速かつ簡単に組み合わせることができます。



オープンなインテグレーションフレームワークとプラットフォーム

イーバオテックでは、ミュール・インテグレーション・ストラクチャ (Mule Integration Structures) およびACORDモデルに基づき多様化、疎結合でのシステムの統合、動的拡張モジュールを完全にサポートしています。

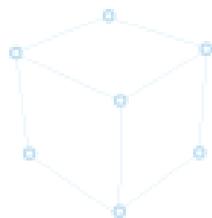
ミュール・ストラクチャに基づくイーバオテックの統合プラットフォームは管理が簡単で、実行中に組み込むことも可能です。システム統合では、すべての通信プロトコルとデータ転送を完了・サポートするメッセージの送受信を行い、様々な認証やセキュリティコントロールが備わっています。



ビッグデータ分析プラットフォーム

ビッグデータ分析プラットフォーム (Big Data Analysis Platform) は、ビッグデータエコシステム全体をサポートし、社内のシステムデータと社外のサードパーティデータの統合を行います。また、AI、データマイニングやその他の方法を駆使して、構造化データと非構造化データを分析できます。そのため、保険会社は顧客を正確に位置づけし、見込み顧客を発掘し、リマーケティング戦略を実施し、顧客に対してパーソナライズした商品のアップセルを行うことができます。

ビッグデータ分析プラットフォームでは、保険会社が顧客により良いサービスを提供し、顧客の満足度を高めるために使用できる、顧客データの一般的管理機能を提供しています。





詳細情報:

@ info@ebaotech.com

W www.ebaotech.com/jp/contact-us/worldwide-offices/

in eBaoTech Corporation

イーバオテック (eBaoTech) について

eBaoTechは、「保険を簡単にすること」を目標に2000年に設立されました。現在では世界30カ国以上で事業を展開し、保険会社300社以上や多数の保険代理店、ブローカー、保険エコシステムにあるその他の企業にサービスを提供している保険IT業界のグローバルリーダーです。